平成 29 年 8 月 25 日

「成安造形大学 高大連携事業の実施状況について」

平成 28年度は延べ 64 高等学校・12 団体に実技・講義等の授業を開講、延べ 2253 人の高校生が受講しました。本学においては、高等学校では施設等の制約があり経験できない授業内容を中心に開講し、高等学校から大学へのスムーズな教育的連携の一助となっています。

また、小・中学生の児童・生徒を対象とした連携授業等も開講しています。それぞれの教育的資源を活かした芸術教育を推進しています。

今後は、高等学校・大学の双方がそれぞれ独自の目的や役割を有していることを踏まえつつ、連携を柔軟に捉え、一人ひとりの能力を伸ばすために、双方が連携した教育のあり方を検討してく必要があると考えています。

授業内容

a「鉄工ラボで鉄の造形にチャレンジ」

本学の金属加工に特化した鉄工ラボを使用し、鉄の切断・溶接やたたき出し等の技術を学び作品を制作します。その他にも版画技法を活かした制作ができる版画ラボ、木工や塗装に特化した造形ラボ、写真暗室でも授業を行っています。

連携校：栗東高等学校、富山第一高等学校 等

b「人体解剖学＋ヌードクロッキー」

人体解剖学に関する講義及び実技を行います。骨格図・筋肉図をトレーシングペーパーに転写することでその成立ちを理解した後、ヌードモデルクロッキーを行います。絵画のみならず、人体表現が多くみられるマンガやイラストの基礎としても大変意義のある内容となっています。

連携校：銅駝美術工芸高等学校、大分県立芸術緑丘高等学校 等

c「五感で描く」

五感をつかって「描く」ことで感性や感覚を研ぎ澄まし、対象や表現の魅力を発見する力を養います。例えば、袋に入った 2,3 点の異素材を触れた感触から想像する物や印象を描くものや、匂いから思い起こす記憶や色、形などを描く内容です。

連携校：京都翔英高等学校 等

d「キャリアデザイン」

美大ってどんなところ？美大を卒業してどんな職業に就けるんだろう？美術家やデザイナーになるには何を頑張ればいいの？この講座では、高校卒業後の進路について疑問点や不安を挙げ、グループディスカッションや質疑応答などを通して美術系のキャリアデザインについて考えます。

連携校：熊本県立第二高等学校 等

e「高等学校等文化芸術活動ジャンプアッププロジェクト」

滋賀県教育委員会を主軸に、滋賀県内高等学校の美術・工芸部会、写真部会と本学で協同し、滋賀の高等学校の文化部活動を更に活性化させ、次世代の文化芸術の担い手育成に取り組む中長期プロジェクトを平成 28年から始動しました。

連携校：滋賀県の高等学校　美術部・写真部 等

f「ヨシでランプづくり」

雄琴小学校は滋賀の環境教育を 6 年間かけて行われています。その取り組みの最終課題である、琵琶湖のヨシを使っての造形制作補助を行っています。環境を守るだけでなくどのように活かしていくのかを考えるきっかけや、制作を通し豊かな造形力を身につける機会となっています。

連携校：雄琴小学校